

8 消耗部品の交換方法

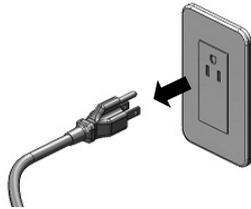
日々作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧め致します。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

 **警告** 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

 **警告** 取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

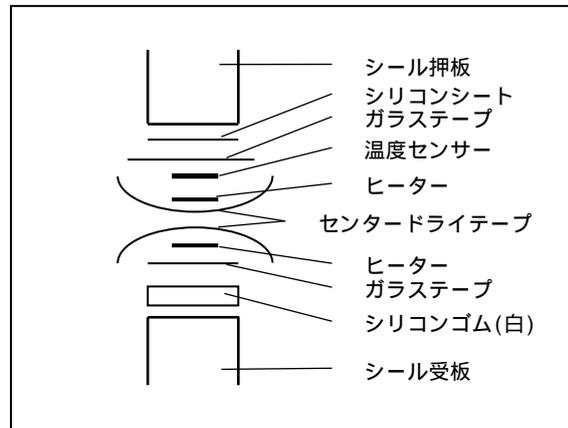
 **警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください

シール部品の構造

シール部は右イラストの部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。



8-1 部品交換のための準備

【必要な工具】 プラスドライバー

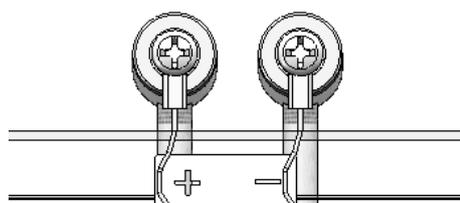
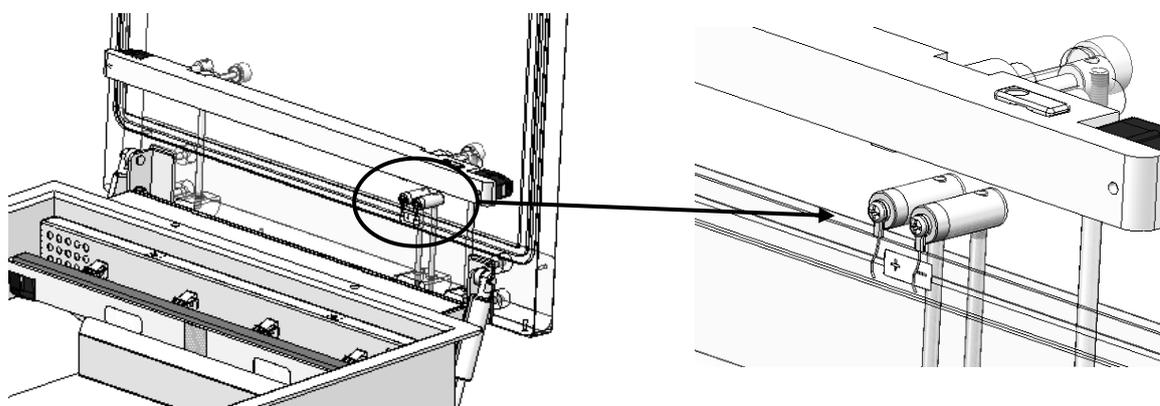
各部品の交換の前に

各部品を交換する際は開閉フタを開けて、シール押板を取り外してください。

シール押板の取り外し方

- 1 温度センサーのリード線をドライバーで外してください。

温度センサーのリード線が細いので、リード線に負荷をかけないように取り扱ってください。



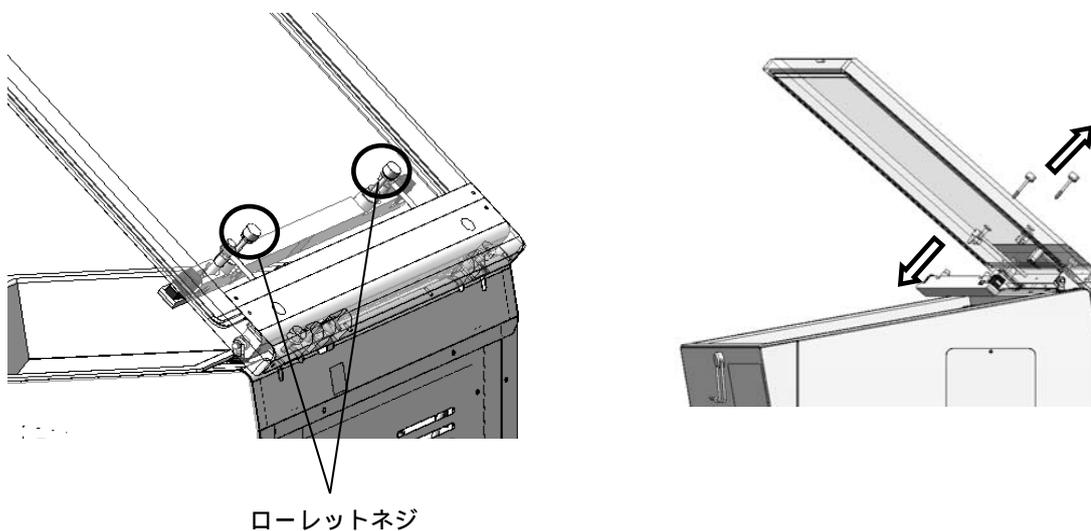
正面から見て左側が+、右側が-
になります。端子の極性（プラス、マイナス）を
間違えないように注意してください。

注！ マークチューブに付いている（+）と（-）とターミナルのシールの（+）
（-）が同じになるように取り付けてください。

- 2 開閉フタの上側から 2 ヶ所のローレットねじを回してシール押板を外してください。

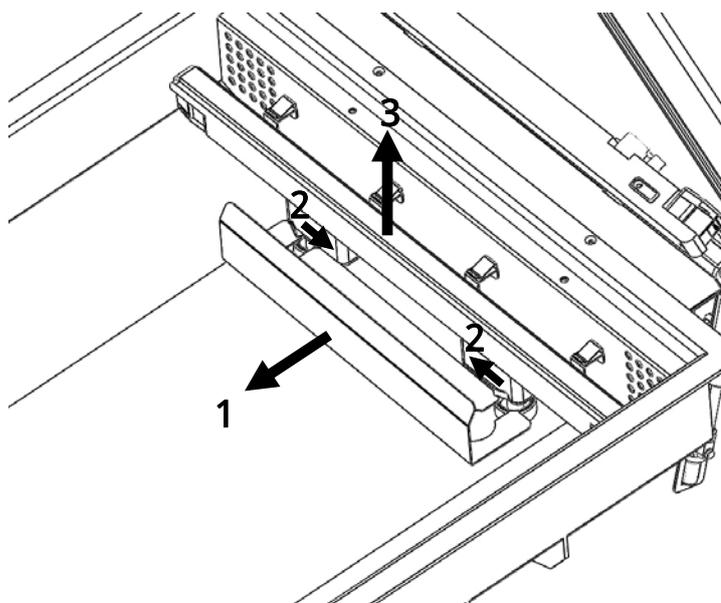


注意 シール押板が落下しないようにシール押板を支えて行ってください。



シール受板の取り外し方

- 1 シール受板カバーを持ち上げ前面に引いて取り除いてください。
- 2 左右のストッパーを「OPEN」にしてください。
- 3 シール受板を持ち上げ外してください。



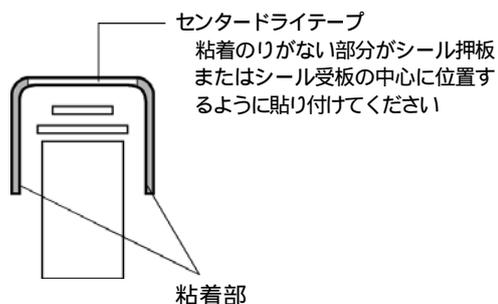
それぞれの部品の交換が終了しましたら逆の手順にて組みつけてください。

8-2 センタードライテープの交換

【必要な工具】はさみ

【交換の目安】センタードライテープが破れた、焦げた、シールが汚い等
センタードライテープは単品販売しています

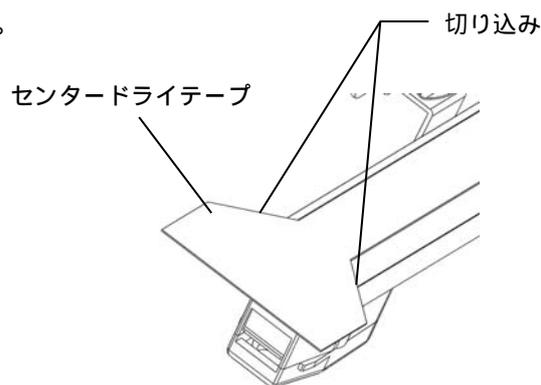
- 1 傷んだセンタードライテープを取り外してください。新しいセンタードライテープの粘着が付いている片面をシール押板、またはシール受板の側面に貼り付けてください。



- 2 両側の電極部は図のようにハサミで切り込みを入れ曲面に沿うようにして電極の左右に貼り付けてください。

注！ 貼り替え時の注意

センタードライテープの中心にヒーターが位置するようにセンタードライテープの両サイドを貼り付けてください。センタードライテープにシワがある状態で貼り付けるとシールにもシワ模様が出てしまいます。



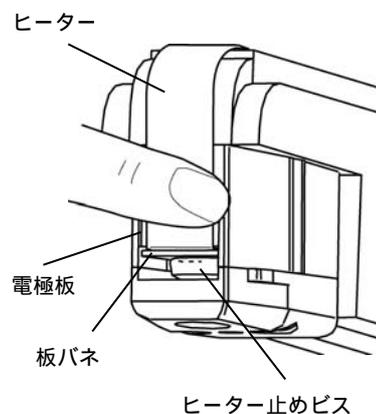
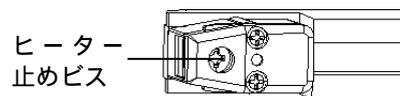
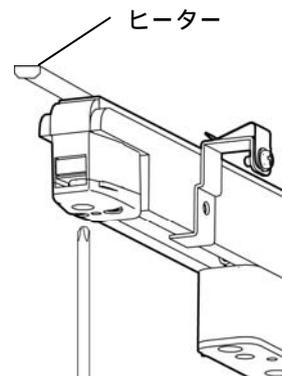
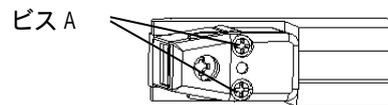
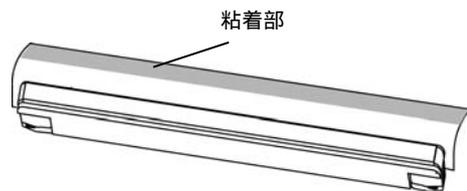
8-3 ヒーターの交換

【必要な工具】プラスドライバー

【交換の目安】ヒーターが切れた、凹凸が発生した、シールが汚い等
ヒーターは単品販売しています。

- 1 センタードライテープを外します。センタードライテープがまだ使用できる場合は、右イラストのように片方の粘着部だけを取り外してヒーターが見えるようにしてください。
センタードライテープも交換する場合は、「8-2 センタードライテープの交換」を参照してください。
- 2 左右にある電極のビス A を緩めてください。
- 3 左右にあるヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めるとヒーターを取り外すことができます。
- 4 ヒーターを取付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込んでください。
ヒーターの端子部は取付部の曲面に沿うように指先にて曲げてください。
- 5 右イラストのように電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえてヒーター止めビスをプラスドライバーで押しながら締めつけて固定してください。

⚠ 注意 ヒーター止めビスの締め付けが緩いと、ヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります。



8-4 シリコンゴム（白）の交換

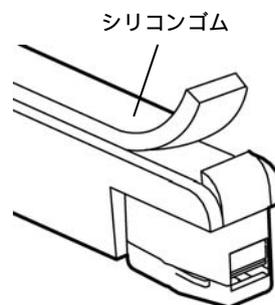
【必要な工具】 プラスドライバー、アルコール（エタノール）

【交換の目安】 シールが汚い等

シリコンゴムは単品販売しています。

- 1 センタードライテープ、ヒーター、ガラステープをそれぞれの部品交換を参考にして取り外してください。
- 2 シリコンゴム(白)をシール受板から取り外してください。シール受板に残った粘着のりを、アルコール（エタノール）を使って取り除いてください。
- 3 新しいシリコンゴム(白)をシール受板の端から順に丁寧に貼り付けてください。

注！ シリコンゴム(白)は、貼り直しできません。

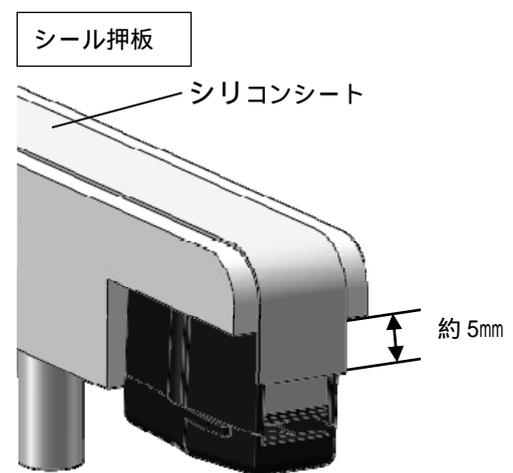


8-5 ガラステープ、シリコンシートの交換

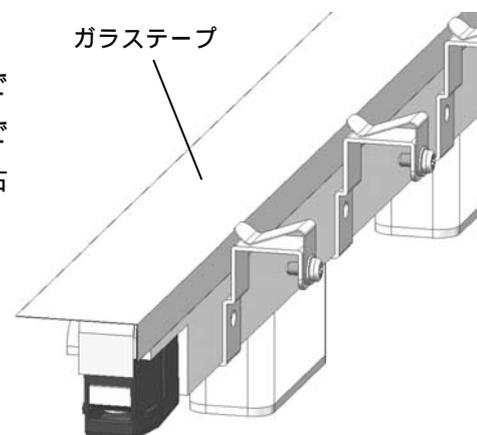
【必要な工具】はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】ヒーターがよく切れる、シールが汚い等
ガラステープ、シリコンシートは単品販売しています。

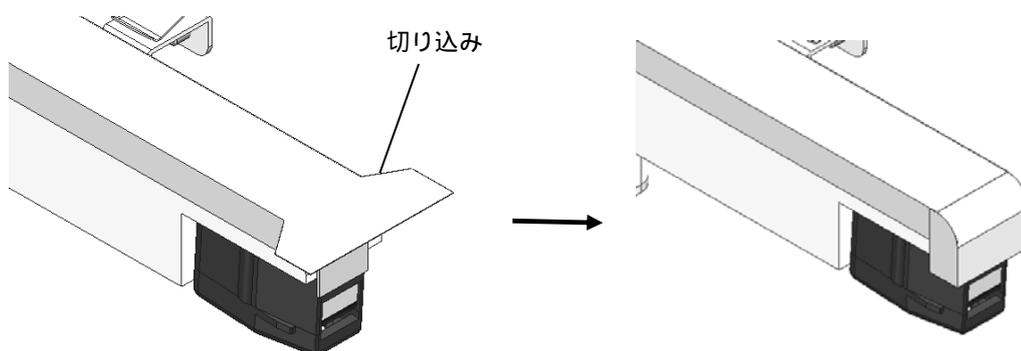
- 1 「8-2 センタードライテープの交換」、「8-3 ヒーターの交換」を参照して、センタードライテープ、ヒーターを取り除いてください。
- 2 シール押板の場合、温度センサー固定ビスを緩めて取り、温度センサーの先端をシール押板から外します。「8-6 温度センサーの交換」を参照してください。
- 3 古いガラステープをきれいにはがしてください。シール押板の場合は、シリコンシートもきれいにはがしてください。
- 4 シール押板の場合、新しいシリコンシートを両端で折り曲げ電極側まで約5mmはみ出るように貼ってください。(シリコンシートの長さは約455mm)



- 5 ガラステープをシリコンシートの上に重ねて貼り付けます。ガラステープを約455mmにカットしてください。
シール受板にはクリップがついていますので受け板とクリップの隙間に約9mm差し込んで貼り付けてください。シール長さ方向は左右は均等にはみ出るようにしてください。



- 6 ガラステープを下図のようにクリップと反対側も折り曲げます。両端部分のガラステープを曲げしわができないようにカットします。図のようにハサミで切り込みを入れ曲面に沿うようにして電極の左右に貼り付けてください。



- 7 シール押板の場合、2 で外した温度センサー固定ビスで温度センサーをシール押板に取り付けてください。
- 8 1 で取り外したセンタードライテープ、ヒーターを取り付けてください。

-  **注意** 粘着のりが残っている上にシリコンシート、ガラステープを貼りますと、シール面に悪影響を起こします。
-  **注意** 必ず温度センサーがヒーターと接触するよう「8-6 温度センサーの交換」を参照して、交換作業を行ってください。

8-6 温度センサーの交換

【必要な工具】 プラスドライバー

【交換の目安】 温度センサーの破損

温度センサーは単品販売しています。

温度センサーはシール押板の右端に取り付けてあります。

- 1 温度センサーの交換ができるようにセンタードライテープ、ヒーターを取り除いてください。
- 2 右イラストのように2カ所のセンサー固定金具と温度センサー止め具を固定しているビスをプラスドライバーで取り外してください。
- 3 新しい温度センサーをセンサー固定金具と温度センサー止め具で取り付けてください。

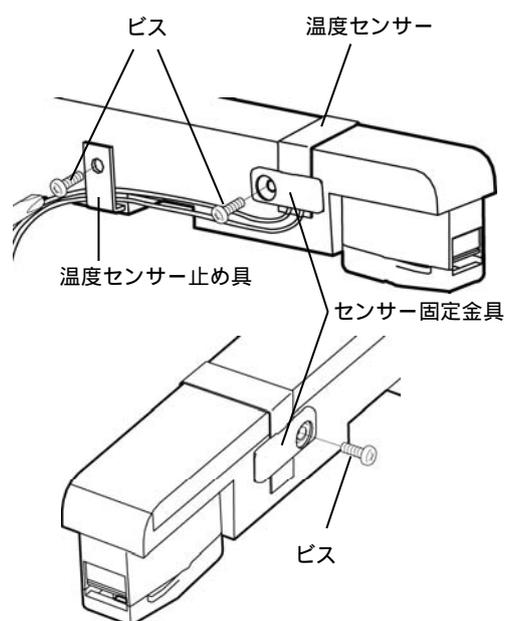
⚠ 注意 センサー固定金具間の温度センサーはたるまないようにしてください。

- 4 シール押板を取付けた後、センサー線を取付けるときは、端子の極性(プラス、マイナス)を間違えないように注意してください。

取り付けには25ページ参照してください

注! マークチューブに付いている(+)、(-)とターミナルのシールの(+)、(-)が同じになるように取り付けてください。

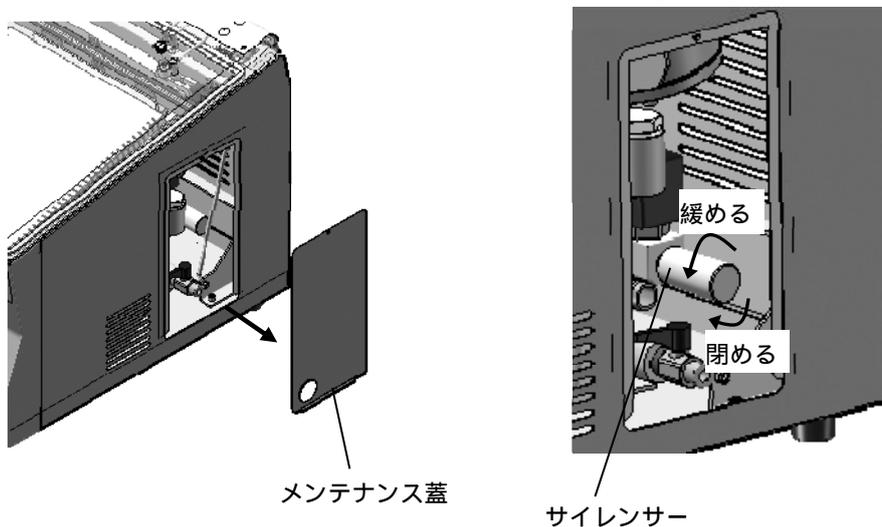
⚠ 注意 温度センサーは、必ずヒーターの下に取り付けてください。



8-7 サイレンサーの交換

【交換の目安】シール（加熱・冷却）終了後、20秒経っても開閉フタが開かなくなった時。

- 1 メンテナンス蓋を開けサイレンサーを左へ回して取り外します。
- 2 新しいサイレンサーを右に回し取り付けてください。

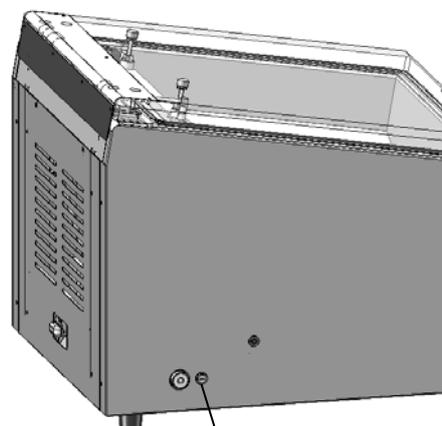


8-8 ヒューズの交換

【必要な工具】マイナスドライバー

【交換の目安】ヒューズが切れた場合
ヒューズは単体販売しています。

- 1 左側面のヒューズホルダーを取り外してください。



ヒューズホルダー

- 2 新しいヒューズをヒューズホルダーにセットします。



- 3 ヒューズホルダーを元の位置に取り付けてください。

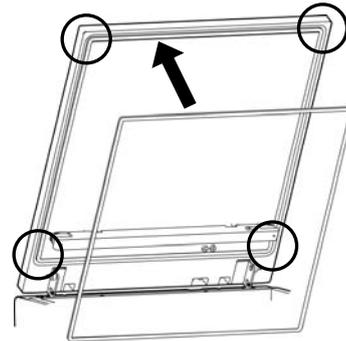
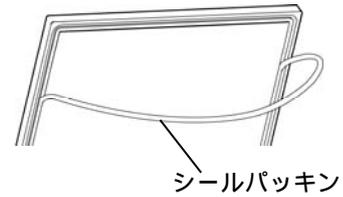


8-9 シールパッキンの交換

【交換の目安】チャンバー内部が真空にならない。

シールパッキンは単体販売しています。

- 1 開閉フタの背面の溝からシールパッキンを外してください。
- 2 取り付ける時は、先に新しいシールパッキンの四隅を開閉フタの溝にはめ込んでください。
- 3 残りの部分はパッキンの伸縮が均等になるようにはめ込んでください。



9 シールの高さの調整方法

シールの内容物が水物の場合など附属品のガイドベース(1個)とガイドプレート(2個)を組み合わせて使用していただくことにより、液体が漏れたりせず、シールすることができます。

ガイドプレートはガイドベースの左右の切欠に差し込み固定することが出来ます。

ガイドプレートの位置を調整することでシール高さの調整が可能です。

